

「世界-美しいばくの村」(四場面) 授業記録(2/12分)

清瀬小3.4年

1 教材の構造 (2/12 現在)

後藤ひびみ



「よく売れたようですね」

⑭ となりて二人の話を聞いていたおじさんが、声をかけてきました。

「いやあ、このヤモのおかげですよ。何しろ、上のおすこが戦争に行つてま

してね。
おすこ
だ

それは、心配ですね。南の方の戦いは、かなりひ

どいという

「戦争の怖さは増えと言つてたんですがね」

⑮ ヤモはお茶を飲みながら、父さんたちの話を聞いていました。ハルーン兄さんは「だいじょうぶさつ

と母には元気に帰ってくるよ、ヤモも帰っています」

⑯ 何かおねがいごはいいなつてきました。

⑰ そんなヤモを見て、父さんが言いました。

「後でひっくり返すことがあるよ」



⑱ ヤモは、まだ半分以上も売れ残ったすももの

前にいる父さんの所へ行きました。

「父さん① みんな売れちゃつた①」

「そうか① それじゃ、ひと休みして、ご飯を

食べに行こうか」

⑲ 父さんは、となりのおじさんに店番をたのみました。おいしそうなおいのするチャイハナ(食事)で、ヤモは、父さんとおそい昼ご飯を食べながら、バザールであったことを話しました。

「戦争で足をなくしたおじさん②買つてくれたんだよ。バグマンのさくらん

ぼは、世界一だつて、父さんと食べようと思つて取つてきたんだ」

⑳ ヤモは、ひとにぎりのさくらんぼを取り出しました。

てほしかった。しかし、「がね」で、父の中にあるにじ配が、ヤモに伝わりました。

「春には帰る」と言ったのは、ハルーン兄さんが戦争に行く前に言った言葉だつた。その言葉をヤモに伝え続けた。その父が心配していることを否定しなかつた。それによって何月も信じてきたことが突然ぐらアキ、ヤモの胸は不安でいっぱいになり、それまでの心から一変してしまつた。

3 展開について (2/20 現在)

○ 一場(⑩~⑭)

・ 美しい自然がいっぱいの国と、家族そろつて楽しい時を過ごしていたことを読み。

・ 「でも」以降、バグマンの様子はかげりを見せ、若者がどんどん減つて、勢いがなくなつていくと、ヤモの兄に対する不安が始まつたことにつながる。

○ 二場(⑮~⑰)

・ バグマンとちがう戦争はどどこにもないみたい」なにぎわいを読む。
・ 子ども達が興味のある「父は、さくらんぼなら売りやしない経験があつて、ヤモに一人でやらせてみた」父の思いにもつながる。

○ 三場(⑱~⑲)

・ 勇気を出して呼べば、バグマンのよけにふり向いてくれると思つたのに、

「だれもふり向いてくれへい」ヤモの落胆と、女の子と足のないおじさんへの感謝と、喜びを読む。「バグマンのさくらんぼ」「世界一だ」
・ 足のないおじさんとのやりとりで、すぐに戦争と兄につながるヤモを読む。「どき」顔が思いうかぶ

く 四場面

○ 「ハルーン兄さんならだいじょうぶ」さつと、春には元気に帰つてくると、ヤモは信じています。問題を作りしつながら、きつと読む。
・ きつと、とは？ → 確信をもっている。

2 教材解釈 ⑱~⑳ (2/12 現在)

「ハルーン兄さんならだいじょうぶ、きつと春には元気に帰つてくると、信じているヤモが、帰つてこないので、不安で胸が痛いばいになつてきたのは、おかしい。必ず帰つてくると、何か月も疑がわらず、信じてこれたのは、大丈夫だと父が伝え続けてきたからだつた。

ヤモがショックを受けたのは、「帰ると言つていたんですけど、自信を失つた」父の言葉のせいである。本当は、「心配はしていない。きつと帰つてきます。」など、いつものようにヤモを信じて

「信じる」とは？ → 疑う余地なし。

○ 大問題 「おねが いっぱいになってきた」とより事件にしていく。

・ 「でも」の前件は どういうことと言っているのか。「さ」と「信じている」

・ 「おねが いっぱい」とは、どういうことか。

○ 小ざっぱ 対立問題を解決していく。

・ さととは？ → 石屋信

・ 信じるとは？ → 疑う余地なし

○ いつから信じているのか → 兄さんが出発してから(春? 数月前から?)

○ 大問題 「おねが いっぱいになってきた」原因は?

① 「いやあ、このヤモの...」 → 卷められているから消える。

② 戦いは、かなりひどい

③ 来年の春には帰ると言っていたがね。

○ 根拠を探すための問題作り

・ かなりひどいとは

・ 「がね」がある場合とない場合の違いは?

○ ③ を 確認 たる 原因 による 原因 に対する 問題 見つけ と 問題 作り

・ なぜ 「春には帰ると言っていた」と信じられるのか

・ 春には帰ると言っていたか → 兄が言った

・ 何回言ったのか → 1回

○ イメージをつくるために

・ 父の「がね」は、ヤモが信じてきたこととは同じか。

・ ヤモは、どう言っていたのか。

4) 授業記録

(2/2, V②)

大問題 「おねが いっぱいになってきた原因は?」

T1 ⑮ は?

こ1 「ひとにぎりのさくらんぼ...」ではありえない

T2 じゃあ ⑱ のどかたね、さあどことだう。⑲ は「が」か、いっつ

あり? (c:3:3) (こ:わからた〜)

○2 おじさんの話! (さあでに話しかける)

こ3 戦争という言葉、戦いという言葉を使っている

さ4 あの人しかいない!

T3 書いてみるね、最初の文は。(C いやあ、このヤモのおや)

⑳5 ヤモのこを(ほめてるから... ちがう!)

T4 これは(ほめてるから)

こ6 ほめてるから、かえて心配... は、はい! うふふ。

ヤモの失敗で心配は分るけど、うふふ。

T5 そうだね、ヤモのおかげで言ってるから、ほめてるね。

じゃあ、これは切っているか。(C はい!) じゃあ、ない。

じゃあ、②か③どっちかな

C7 あの人しか、いない、うふふ

T6 ③は(C 来年... がね)(あえて、言っていた)のみ

黒板、

C8 決めた? ①だとする人(T①は切ったよ)あーはいはい

T7 じゃあ③はなし ②それは心配だね - 一人

対立はいいね。③春には帰ると言っていた- 一人

こ9 来年の春には帰ると言ってるがね、アアアアアア、心配

なんで、おかしなじゃないですか。

T8 ほう、②の理由ね、二人とも②で同じだから言ってみて。

こ10 だって、南の方の戦いは、かなりひどいと言っているか

言ってるし、ハルーン兄さんは、南の方に行っているか

わからないけど、戦いに行っているから、かなりひどい

中で戦争しているから、胸が痛いって話したし、

(442)

11 兄さんなら大丈夫と思っても不安になる。
 T9 やっぱ おじいさんの言葉か。どう？
 S12 賛成で、南の方の戦いはかばりていって言うから、すくくはいいと同じに
 行ってるから、かばりていって言うから、すくくはいいと同じに
 T10 だから。(T ああ、戦いがね) 兄さんは大丈夫か。
 S10 それも心配してる。(T なるほどね)
 T10 それは心配するな～さっき言ったね、おじいさんがわざわざ心配
 させるようなことをして。
 S10 おじいさんが余計なことを言った。(T 余計なことと言った！)
 T11 だっておじいさんが言ったのだから、南の方…かばりていって
 うし、心配するから「し」が付いてる。ただ心配しては
 「かばりてい」も付いてる。
 T14 「いうし」ってことは、まだ言いたいのことがあるかも
 T12 心配するから「かばりてい」…やっぱりこれか～
 T15 「いうし」ってことは、うわさ、中心だから、いつかよ ヤモ(?)
 T13 じゃあ、ここで解決して、言いたいことだけ、私にこち③に入
 おくれ。
 T16 わたし「こと」を調べたんですけど、絶対と同じで「確かに、す
 っいうこと…よから、いい加減がありました。
 T14 ああ、それ大事ね～(辞書で確認してきてえらからねと言
 べきだった)
 T15 ②も大事だけど、もっと原因にたどり着くことはないか。③は
 全く原因にはたどり着かないか。お父さんの言葉は、ヤモ
 の心配の原因には、ちよとはたっているか、なっているか。
 T17 今、言おうよ。(T だよ?) 今言おうよ。今こそ、
 お父さんの「帰ると言ってるおね」の言おうよ。ちよと
 傷ついてる気がする。
 T16 ほほ～傷ついてる気がする…もつちよと。どうしてそう
 思った？
 C16 普通に言ってるから傷つけないと思つて「言ってるおね」

△合の手いらぬ
 自分たがけつね
 △兄さんは南
 方に行つたは
 共通理解事項
 にすぎさ。
 △もと「かばり
 てい」をバジ
 ンでさす。
 △倒置や強調
 を確認がき
 だった。
 △前時「こと」は
 「かばりてい」で通
 理解済み。
 △他の言おう
 見つからず
 (用意足りず)

(8-20)

19 言って、おねが苦笑いみたい。「言ってるおね」が傷つ
 いてる。
 T17 この言おう「かね」が付くと、苦笑いして、もうちよと 教
 えて。
 S19 ちよんが感じ？
 T20 ちよんが感じだと、ヤモの気持ちかわかるかも(これはい
 けど?)
 「言ってるおね」(軽い感じで音読)「と、ヤモは傷つ
 かわりてい。
 T21 来年の春には帰ると言ってるに「かね」が付くと、来年の春
 には帰ると果てない感じだから、ヤモは心配する。
 T18 「かね」が付くと、変わる感じがする
 T22 帰って来ないって、そういう感じに聞こえてくる。
 T19 帰って来ないって、そういう感じがする
 T23 帰って来ないって、言ってるおね～(不安なのは
 音読)
 T20 言ってるおね～(弱い感じがする)
 T24 (おねは)「帰ると言ってるおね」って、言おうと、
 ヤモは、じゃあ、帰ると言おうか、兄さんの死が
 ちよんについてくる。言おうか。
 T21 じゃあ、ちよと、やってみようか。「かね」が付くと、ど
 んな
 感じ？音読してみよう、私が おじいさん役でやる。
 (10:00) (音読)
 C25 「来年の春には帰ると言ってるおね」
 T26 あっ！すげえいい!! (さあ、おねの顔を見る)
 T27 気持ちが強いわ…
 T28 帰ってくるよ！
 T29 ああ～！「かね」だと、おねが心配する。心配しては
 「です」だと、「帰ると言ってるおね」って、おねが強い。
 T30 気持ちいい!!
 T22 ああ、「さす」って言い切ってるから「帰ると言ってるお
 ね」って、あ～
 T21 心配するおね!!

△おねはあ
 △ヤモの心とす
 づなげたかす

(10:38)

T23 ここで「言っていたはず」終わると心配がない、すだいじん。発見したね。(C)一トにメモしたくて書き出す

じゃあ、今度は「がね」ついでやってみよ。(こまだ書いている)おとで書く時間あげるから(こらぶら)

(音読)「～がね」

さっきと違った? どう違った?

さ32 「です」だと、決めつけて、帰ってくるよ! みたいに感じたんだけど、こ33 心がメモヤモヤする (T)もう少く言って、メモヤって...

さ34 帰ってくるよって言ったんだけどね... みたいな

こ35 言っていたんだけどね... みたいな (音読では表現できる)

T36 もう少く言って、メモヤって、お父さんの言いかは、どんな感じに聞こえてくるの?

こ36 人がけおりの中みたいな

T37 お父さんの? ... 主眼かいたいな

こ37 お父さんは迷ってるみたいってことは、帰ってくるか分かんないってことだから、メモもだんだん ちざこんでくる...

T38 父の迷いが感じられるからね

こ38 あつても「後でびくりにするよあるよ」だから、メモの気持ち分かってる

T39 お父さん後でそう言ってるね、メモがこういう状態になったから元気がよくなったのかな

こ39 か、普通にサライズしようとした。

Q38 もう一回聞くと、どっち? どっちが大きい原因?

C40 両方です! (T)両方説出したー)

こ41 でも、大きいのは父さん(3)の気がする。

T39 あつちんと、こち(3)来た?

こ42 「がね」びびいというし、で

Q40 「言っていたよ、言っていたんだけれど、で ガーンとぼろぼろだね。」

C43 「言っていたんだけれど、で」

△引き出す教師の語いの戻り

△子供の表現と組み立て

いる。
△メモの気持ちに気がつく
だうね、と止めておくべき

△唐突

(13:09)

さ44 私も③です! (T)おっ)

こ45 ③です!

T31 どうした?

C46 「きつと③です!! (一チャイルム)

T32 ちおとと待って... じゃあ「がね」で言うのは、すだい言葉だね

さ47 なんか、「がね」付いただけで、メモが、メモが

こ48 「がね、調べたいよね。(C)辞書を開き始める)

Q49 「がね」付いただけで、メモは傷つく!

T33 「が」「ね」「だね、じゃあ、この「がね」が強く力を発揮してきつとで、「が」と「ね」を調べていきませう。

「がね」で、みんなが③に来たけど、もっと証拠がないと。

Qの意見(大きな字根はさきといる)と変える証拠がほしいよね。「がね」はすだい言葉だけ、まだ見つかると思う。お父さんがこつ言ったことがショックだったメモの証拠がね、見つかると思うので、明日、やうね。

<2/22 V①>

ヤモがおねいはいに帰ってしまっ原因が、父の来年の春には帰ってくるよと言ったんだけれど、ある根拠も、「がね」以外から探る。

教師が②に入り、「がね」びびいというし、のイメージを伝え、ゆさぶる(11:38)

T34 ぐらぐらしてきた? 「父さんたち」って書いてあるね。(「父さんたち」にこだわって②に変えたので)

さ40 「父さんたち」って書いてあって、「大丈夫」って信じていたけど、(2人の話)何だか胸がいっぱいになってきたこともある。

Q41 さあ、おねい、それはいちばん大事な... その次に「がね」って書いてるじゃん。で、その後にメモは、心配になってるでしょ。このこと②で心配にならなからさ、(心配は)その後に来るんじゃないの?

さ43 迷う～ (T)迷う～)

△両方と言っているのに簡単に変えた理由を聞くべき

○「きつと」を使った理由

○簡単に③に変えたので、ゆさぶることからスタート

②③—1人(おねい)

③—1人(こねい)

(12:30~)

T35 こっちさんは③ね、さあちんは②と③(両方同じくらい) どちらかは③の方が強いね。

T36 さあちん②じゃないの？ (さ②はいい)

T37 でも両方はちよとねー

T38 じゃあ、ぐらくらしてちんはいいから、問題見つけようよ。

T39 (問題が出たのぞ) 「T38」

T40 「来年の春には帰るよ」で問題できない？

T41 あっ③です。(Tお?) えっなんで聞いてみて)

T42 あっ(Tえっ何?何?)

T43 「来年の春には帰るよ」で問題できない? 「帰らないとある心配があるんだけれど、それは心配です、南の方ばかりで、いじいじと、(家族は)帰って来ないとは言っていないから、②で帰ってこないと決めつけられたわけではない。

T44 じゃあ②さん。(?)

T45 帰ってこないとは決めつけられたことはないから、

T46 たしかに。ハルーン兄さんのことは言っていない。帰ってこないと家族のことは、お父さんが言ってる。

T47 ②は家族のことではないというからね。

T48 単に言うだけじゃないよ、お父さんが知らせてあげたわけじゃない。兄さんの言うことはない。

T49 南の方の言うことだけ、帰って来ないとは決めつけられたくない。

T50 何か問題できない?

T51 お父さんは、完全に帰ってこないみたいじゃない。

T52 えっそうなの? 私、③の人の味方じゃない。

T53 でも、「帰るよ」がある(Tあ、それ大事だった)

T54 「帰るよ」これ大事だから、四角かこておくね。(C73)

△ぐらくらの理由

聞かす

△問題出たのぞに

範囲を限定

すかす

家族の

△でも「心配」は

同じ②③の

家族にされる。

△②も③も決

つけられわけ

ではない。

△子も違が何が

言いたいのかわ

いけなしため、

早めに否定さ

ない。

△思い込み→

「帰って来ないか

しれない」みたい

体言の方

(15:24)

T44 「がね」が付いたら、完全に...さき何て言った?

T45 完全に帰ってこない感じ (Tそうなの?)

T46 完全に帰ってこないけど、50%くらい帰ってこいみたいはあやふさふさ (Tああ)

T47 「帰ってくる」なら「です」なら帰って来るけど

T48 「です」なら「マクみたんだけど、「がね」だと? マク

T49 50%くらいになっちゃった。昨日だと...読んでみて

(「ハルーン兄さんなら...信じています、著読)

これは50%?

T50 それは100%! 「信じています」! だから!

T51 「信じています」ってどういうことだけ?

T52 信じていること!

T53 だから、ここで信じているだけじゃなく、

T54 他にも信じている!

T55 どのくらい信じているって昨日言った?

T56 心配もするけど、夏からずっと、信じている。

T57 ずっと...兄さんがいなくなってるから。(ここに書いた)

(親を引いた所) そうだ、兄さんが行ってるから、ずっとずっと信じているんだよね。信じているのに、胸がいっぱい分かんなくならなかった。

T58 分かんなくならなかった原因は、お父さんが、こんなこと言ってるから、50%みたこと言ってる...昨日は、まじ、まじ、何%って言ったの? (C100%) 100%信じて

T59 いたのに...「がね」って言ってから

T60 50%くらいに下がった。「がね」のせいで、50%

T61 「がね」のせいで50%削られた。

T62 削られたから...今までずっと100%だったのね。

T63 突然お父さんがこんなこと言ったから50%になっちゃった。

T64 「がね」で「あー」って

T65 「がね」で「あー」って

「がね」の結果確認

△「完全には」というときは、言葉にならなから「の」か

○昨日、継続の「いる」は既習

△帰ってくる、必ず帰ってくる、分かんなくならなかった、のイメージを上げたい。

△100%か50%にはるかは、何がどうなのか、削られたとは、教師の語彙は、思われたとは、イメージを具体的にださせられる。

(17-44)

T32 じゃあ、初めて？ こんなに削られた、胸がいっぱいにはなっちゃったのは
 C39 (うん、うん)
 こ20 家族に削られた (T あー)
 (21) 今までは、兄さんのことと思っただけ、「大丈夫、大丈夫」お父さんに「がね」
 けど、(こ: 心配、大丈夫、心配、大丈夫) お父さんに「がね」
 が付いたから、胸がいっぱいになる。
 (22) もう、負けちゃうよ、みたい
 さ22 乗り越えてない感じ (T あー 負けちゃうよ)
 (23) 家族が言うから、さ、はい、感じて感じ
 T23 ああ、なるほど、おじさんならまだいい、家族が言ったから、削られた
 った感じ。
 (24) 今までは、ヤモは (こ: 大丈夫、大丈夫で) 考えただけは、大丈夫
 て乗り越えてきたけど、今は乗り越えてない。
 T24 これ「がね」のせいで、乗り越えられなくなっちゃった、ってこと
 ずいとい言っくん。
 でも、それでも、意地はして、(25) だよって言う人に何と何とすために、
 もう一つ 問題つくらない？ これぞ (「来年の春には元丸に
 帰ってくる」) で 問題できない？ (こ: 来年の春...)
 (26) 春には元丸に帰ってくるって、信じられるの？ (T わたし)
 「さ」と帰ってくるって、信じられる、でも、いいのに、春には元丸に
 帰ってくる、元丸にも、なぐてもいい。
 T25 そういふ問題あるよ、ね。
 (17-44) 信じられる、ってことは、誰かが言ったよ、ね。
 (27) (さあ、お見えて) たしかに
 T26 言わなさい、信じられないう
 さ28 兄さんが言った
 T27 問題にするよ、さ、さ、問題見つけと 作り変えよと？
 こ27 だれが 言ったのか
 T29 ほんとだよ、ね、普通、信じられないう
 さ30 家族だから (信じられる？)

△さとし達はのって
 いるが、教習車
 一輛に浅い。

△子どもの口で言わ
 せたい。
 どういふことか。

▲もう一度
 支持確認
 するべき

○お父前 さあ、やが
 った問題だよ。

・この後、兄さんが出発
 する時にヤモに言った (2) 兄さん
 だけでは、ヤモは信じ続けられたいイメージから、国のまわり
 だったのでは、か出たが、証拠はよく消える。
 ・兄さんが言った、一回の言葉だけではないから、「兄さんと
 父さん」かヤモに言った、か出てくる。(さあ、やから)
 <2/22 V @ 0:20 ~ >
 こ91 ああ、分かんない
 さ22 父さんが「言ってるんですがね」って、こは... (こは、迷い中)
 こ92 父さんは兄さんから聞いたよ、ね...
 T29 そう、ね。ヤモも兄さんだけか、つわり 父さんは兄さんから
 聞いてたんだよ、ね。それはいい？ (C うん、うん) 「父さん、
 ほくは、来年の春には帰るよ」って言ったんだよ、ね。でも、さ、さ
 こころの、心、意見ももうよ、一回で、ヤモは、すーと信じられる
 のから、言ってるよ。それと合わせると、ヤモに言ったのは、兄さん
 だけなのか、父さんも、言ったのか。
 さ34 ヤモは兄さんのことを信じているんですか？ (兄さんの言葉も？)
 うん。
 T20 ヤモは何を信じているの？ (C: せ、さいに帰ってくる)
 兄さんが絶対的に帰ってくるよ、
 さ35 春には帰ってくる、って兄さんしか知らないじゃん (言う前は)
 他の人とか知らないじゃん。だけど、ずっと信じられるのは
 お父さんじゃないと思う。(T: だから？) だから、分かんない。
 T21 兄さんが出発する時、言っただけで、100% 信じられることば
 ありえない感じがするよ。(こ: うん、うん) だから、国中とか出た
 きたら、たぶん、(こ: 苦しい) さあ、やから、兄さんと父さん、
 ないか、って、言ってる。
 こ26 でも、父さんが言った、って書いてない (T: そうだね)
 こ29 「言ってるんですがね」って誰かが言った、って最初、言ったじゃん
 「自分のことを言ってるのは、お父さん、お父さん (？) (さあ、やから、さあ)」
 「父さんが言った、って」

△さとしの「心配
 大丈夫、心配
 大丈夫」の強さを
 再現する
 ○お父前の「こは、
 との、迷い

